

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2012年第50週  
(12月10日～12月16日)

- \* 2012年12月19日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2012年11月)の疾患及び感染症豆知識  
「インフルエンザ2012年10月現在」も掲載しています。

平成24(2012)年12月20日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

# 全数把握対象疾患 報告数 2012年50週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		47週	48週	49週	50週		50週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	74	60	78	79	4,331	348	27,552
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ							3
	細菌性赤痢	2	3	1	4	72	3	208
	腸管出血性大腸菌感染症	2	2	3	1	256	18	3,707
	腸チフス			3		13		35
	パラチフス					10		20
四類	E型肝炎		2	1		20	1	111
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	2			35		157
	エキノкокクス症							14
	黄熱							
	オウム病							6
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱						1	1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					3		9
	つつが虫病	10		2		16	21	387
	デング熱			2	1	56	1	215
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	167
	日本脳炎							2
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							3
	マラリア	1	1	1		24		72
	野兔病							
	ライム病							11
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2	3	1		56	19	855	
レプトスピラ症		1			6	1	30	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		47週	48週	49週	50週	年累計	50週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	7	6	4	186	14	878
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1	1		3	55	5	216
	急性脳炎 *2		1		2	32	2	338
	クリプトスポリジウム症					2		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1		16	3	175
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	23	3	234
	後天性免疫不全症候群	5	10	3	17	443	18	1,347
	ジアルジア症	2				16		67
	髄膜炎菌性髄膜炎							12
	先天性風しん症候群							4
	梅毒	6	8	5	11	284	13	833
	破傷風	1				5		110
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					10		89
	風しん	17	24	22	22	618	25	2,231
	麻しん	1	2	2	1	81	6	289
2012/12/19集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 79件** 肺結核 44件、その他の結核 10件、肺結核及びその他の結核 3件、無症候病原体保有者 19件、疑似症 3件、年齢は10代 1件、20代 12件、30代 8件、40代 11件、50代 11件、60代 14件、70代 11件、80代 9件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 75件、タンザニア 1件、マレーシア 1件、中国 1件、不明 1件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 4件** 患者 3件、無症状病原体保有者 1件、年齢は20代 2件、40代 1件、60代 1件、菌種はソンネ 3件、フレキシネル 1件、推定感染地はカンボジア 1件、ネパール 1件、バングラデシュ 1件、フィリピン 1件、推定感染経路は経口感染 4件であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 1件** 患者、血清型・毒素型はO血清型不明VT2、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

#### 〈四類感染症〉

**デング熱 1件** 患者、年齢は40代、推定感染地はタイであった。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 4件** 腸管 3件、腸管外 1件、年齢は20代 1件、40代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 1件、異性間 2件、性別不明 1件)であった。

**ウイルス性肝炎 3件** B型 1件、C型 2件、年齢は20代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路はB型が性的接触(異性間)、C型が性的接触(同性間) 2件であった。

**急性脳炎 2件** 病原体は不明 2件、年齢は10代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、その他(不明) 1件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** G群、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明) 1件であった。

**後天性免疫不全症候群 17件** AIDS 1件、無症候キャリア 14件、その他 2件、AIDS患者の年齢は30代、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 7件、30代 6件、40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 15件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 17件(同性間 13件、異性間 2件、性別不明 2件)であった。

**梅毒 11件** 早期顕症梅毒Ⅰ期 3件、早期顕症梅毒Ⅱ期 3件、晩期顕症梅毒 1件、無症候梅毒 4件、年齢は20代 2件、30代 3件、40代 4件、50代 2件、推定感染地は国内 11件、推定感染経路は性的接触 11件(同性間 9件、異性間 1件、性別不明 1件)であった。

**風しん 22件** 検査診断例 19件、臨床診断例 3件、年齢は10代 2件、20代 8件、30代 6件、40代 4件、50代 2件、推定感染地は国内 22件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 12件、接触感染 3件、その他(不明) 7件、風しん含有ワクチン接種歴は接種なし 3件、不明 19件であった。

**麻しん 1件** 臨床診断例、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、麻しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

※ 第48週で報告のあった、〔五類〕麻しん 1件は削除された。

# 定点把握対象疾患 報告数 2012年50週

定点種別	対象疾患	2012年					報告医療機関数	定点医療機関数
		47週	48週	49週	50週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	150	110	138	135	0.51	263	264
	咽頭結膜熱	99	144	186	184	0.70		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	521	566	641	646	2.46		
	感染性胃腸炎	4,178	6,210	7,061	6,873	26.13		
	水痘	336	343	431	381	1.45		
	手足口病	124	100	110	107	0.41		
	伝染性紅斑	6	15	12	22	0.08		
	突発性発しん	152	167	162	136	0.52		
	百日咳	2	4	8	1	0.00		
	ヘルパンギーナ	21	20	16	16	0.06		
	流行性耳下腺炎	56	56	61	59	0.22		
	川崎病(注1)	6	3	3	3	0.01		
	不明発しん症(注1)	28	20	27	20	0.08		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	100	128	261	467	1.12	418	419
眼科	急性出血性結膜炎	2					38	39
	流行性角結膜炎	14	23	21	20	0.53		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)			1			25	25
	無菌性髄膜炎	3	2		7	0.28		
	マイコプラズマ肺炎	18	19	29	22	0.88		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1			1	0.04		
	インフルエンザ入院(注4)			2	1	0.04		

2012/12/19集計

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(注4) 2011年36週より開始

### (今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は前週から微減したが、警報レベルを引き続き上回っている。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は微増し、流行開始の目安となる定点当たり1.0を上回った。

### (小児科・内科定点医療機関からのコメント)

23 保健所の 80 医療機関からインフルエンザ迅速キットA型、3 保健所の 3 医療機関からインフルエンザ迅速キットB型陽性の報告がありました。

#### 港区

- ・ 感染性胃腸炎42名中、ノロウイルス5名。

#### 新宿区

- ・ 感染性胃腸炎は、ノロウイルスかどうかは不明です。

#### 台東区

- ・ 手足口病は兄妹。

#### 墨田区

- ・ 感染性胃腸炎は4人迅速検査、全てノロウイルス陽性。

#### 世田谷区

- ・ マイコプラズマ肺炎 1名。アデノウイルス迅速検査陽性 4名。
- ・ ロタウイルス感染症(11か月児)。
- ・ 嘔吐下痢症が再び増加。
- ・ インフルエンザA型、保育園 5人、小学校 3人。

#### 北区

- ・ 相変わらず感染性胃腸炎の流行が続いています。

#### 荒川区

- ・ アデノウイルス陽性 8名。胃腸炎が増えているようです。
- ・ 嘔吐のみ、下痢のみの患者多数。病原性大腸菌 O25、O53、O159、カンピロバクター、ウェルシュ菌 各1名。
- ・ インフルエンザ増えています。

#### 板橋区

- ・ 感染性胃腸炎は、ノロウイルス迅速検査陽性(3人)。
- ・ 病原大腸菌 O25、O59 各1名。

#### 足立区

- ・ アデノウイルス性腸炎 1名(1歳児)。

#### 練馬区

- ・ 小学校でインフルエンザA型が少しずつ増えている。

#### 葛飾区

- ・ 2名の水痘者は、罹患時のワクチン接種だったが、とても軽く済んでいる。
- ・ アデノウイルス扁桃炎(1歳児)。

#### 八王子市

- ・ アデノウイルス感染症4名。
- ・ アデノウイルス感染症 5名、ロタウイルス胃腸炎 1名。
- ・ 感染性腸炎は、カンピロバクター 1名。

#### 南多摩

- ・ 感染性胃腸炎は下火に。
- ・ 相変わらずウイルス性胃腸炎が多いです。

#### 多摩小平

- ・ 病原性大腸菌 21名、アデノウイルス腸炎 3名、ノロウイルス腸炎 13名。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2012年50週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～6か月	37	1	1	38	2			2		
～1歳	33	9	4	297	18	6	1	45		
1歳	28	32	17	782	58	21	1	76		5
2歳	24	31	17	570	56	29	4	9		1
3歳	9	17	68	581	67	17	2	4		3
4歳	1	32	85	547	76	17	3			1
5歳		17	83	522	40	7	6			
6歳		10	70	392	18	4	2			1
7歳	1	6	81	357	13	1				
8歳	1	5	70	335	10		1			
9歳		9	40	286	10	1				1
10～14歳	1	4	87	832	11	2	2			
15～19歳		2	5	241	1	1				2
20～29歳		9	18	1,093	1	1			1	2
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	135	184	646	6,873	381	107	22	136	1	16
先週比	-3	-2	5	-188	-50	-3	10	-26	-7	

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～6か月			1	3		
～1歳		1	1	3		
1歳	1		9	12		1
2歳	4	1	2	8		
3歳	8		2	27		1
4歳	6	1	1	29		1
5歳	14		3	34		
6歳	6			21		
7歳	5			24		1
8歳	5			21		
9歳	2		1	22		
10～14歳	7			71		
15～19歳				33		
20～29歳	1			36		7
30～39歳				43		5
40～49歳				44		
50～59歳				25		2
60～69歳				8		2
70～79歳				2		
80歳以上				1		
合計	59	3	20	467		20
先週比	-2		-7	206		-1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2012年50週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳	1	
15～19歳	1	1
20～29歳	8	
30～39歳	6	
40～49歳	4	
50～59歳	2	
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	22	1

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2012年50週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	3		1	55						
中央区	2		13	24				1		
みなと	5	12	13	114	11	1	3	6		
新宿区	7		12	167	6	4		4		
文京	1	2	6	72	1					
台東	1		6	120	11	6	4	3		1
墨田区	4		8	84	10	4		5		
江東区	5	5	28	343	7	7		4		
品川区	1	8	10	221	2	16		5		
目黒区	2		3	52	8			2		
大田区	14	25	15	445	29	10	2	8		
世田谷	2	3	41	566	22	10		4		
渋谷区		2	5	69	4	1		1		
中野区	2	1	7	174	9	2		4		
杉並			12	237	8	1	2	8		1
池袋		1	1	96	4	2				
北区	6	2	7	192	18	3		8		4
荒川区	6	12	19	180	3		1	3		
板橋区	2	2	3	165	5	5	3	1		1
練馬区		6	21	336	21	1		7		
足立	4	14	24	435	5			3		
葛飾区	2	2	40	259	8	2		4		
江戸川	6	17	50	361	12	4		7		
八王子市	12	12	39	324	21	15	1	5		
町田市	1	5	40	264	24	3		7		3
西多摩	4	1	9	141	14			2		1
南多摩	11	9	32	258	15	8	1	2		2
多摩立川	9	8	37	303	38			8		
多摩府中	5	16	81	463	21	2	1	11		1
多摩小平	18	19	63	348	41		4	13	1	2
島しょ				5	3					
東京都合計	135	184	646	6,873	381	107	22	136	1	16

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2012年50週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				10		
中央区				2		1
みなと		1		11		
新宿区	1			3		
文京				11		1
台東	1			14		
墨田区			1	38		
江東区	1		3	32		
品川区			1	4		
目黒区						
大田区	6	1	1	29		
世田谷	1		1	33		1
渋谷区	1			33		6
中野区	1			11		
杉並	2			9		
池袋				8		1
北区	7		1	3		1
荒川区				14		
板橋区	3		2	13		1
練馬区				15		2
足立	5			23		3
葛飾区	3			8		
江戸川				30		1
八王子市	4		3	17		
町田市	4		3	19		
西多摩	4			9		
南多摩	3			17		
多摩立川	2		1	8		
多摩府中	8		2	21		
多摩小平	2	1	1	22		2
島しょ						

東京都合計	59	3	20	467		20
-------	----	---	----	-----	--	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと	5	
新宿区	2	
文京	1	
台東		
墨田区	3	
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区	3	
杉並	1	
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区	1	
足立		1
葛飾区	2	
江戸川	1	
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩	1	
多摩立川		
多摩府中	2	
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	22	1
-------	----	---

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2012年50週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	1.00		0.33	18.33						
中央区	0.67		4.33	8.00				0.33		
みなと	0.83	2.00	2.17	19.00	1.83	0.17	0.50	1.00		
新宿区	0.88		1.50	20.88	0.75	0.50		0.50		
文京	0.25	0.50	1.50	18.00	0.25					
台東	0.25		1.50	30.00	2.75	1.50	1.00	0.75		0.25
墨田区	0.80		1.60	16.80	2.00	0.80		1.00		
江東区	0.56	0.56	3.11	38.11	0.78	0.78		0.44		
品川区	0.13	1.00	1.25	27.63	0.25	2.00		0.63		
目黒区	0.40		0.60	10.40	1.60			0.40		
大田区	1.08	1.92	1.15	34.23	2.23	0.77	0.15	0.62		
世田谷	0.13	0.19	2.56	35.38	1.38	0.63		0.25		
渋谷区		0.50	1.25	17.25	1.00	0.25		0.25		
中野区	0.29	0.14	1.00	24.86	1.29	0.29		0.57		
杉並			1.20	23.70	0.80	0.10	0.20	0.80		0.10
池袋		0.20	0.20	19.20	0.80	0.40				
北区	0.86	0.29	1.00	27.43	2.57	0.43		1.14		0.57
荒川区	1.50	3.00	4.75	45.00	0.75		0.25	0.75		
板橋区	0.22	0.22	0.33	18.33	0.56	0.56	0.33	0.11		0.11
練馬区		0.46	1.62	25.85	1.62	0.08		0.54		
足立	0.31	1.08	1.85	33.46	0.38			0.23		
葛飾区	0.25	0.25	5.00	32.38	1.00	0.25		0.50		
江戸川	0.50	1.42	4.17	30.08	1.00	0.33		0.58		
八王子市	1.09	1.09	3.55	29.45	1.91	1.36	0.09	0.45		
町田市	0.13	0.63	5.00	33.00	3.00	0.38		0.88		0.38
西多摩	0.50	0.13	1.13	17.63	1.75			0.25		0.13
南多摩	1.22	1.00	3.56	28.67	1.67	0.89	0.11	0.22		0.22
多摩立川	0.64	0.57	2.64	21.64	2.71			0.57		
多摩府中	0.24	0.76	3.86	22.05	1.00	0.10	0.05	0.52		0.05
多摩小平	1.20	1.27	4.20	23.20	2.73		0.27	0.87	0.07	0.13
島しょ				5.00	3.00					

東京都	0.51	0.70	2.46	26.13	1.45	0.41	0.08	0.52	0.00	0.06
-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------

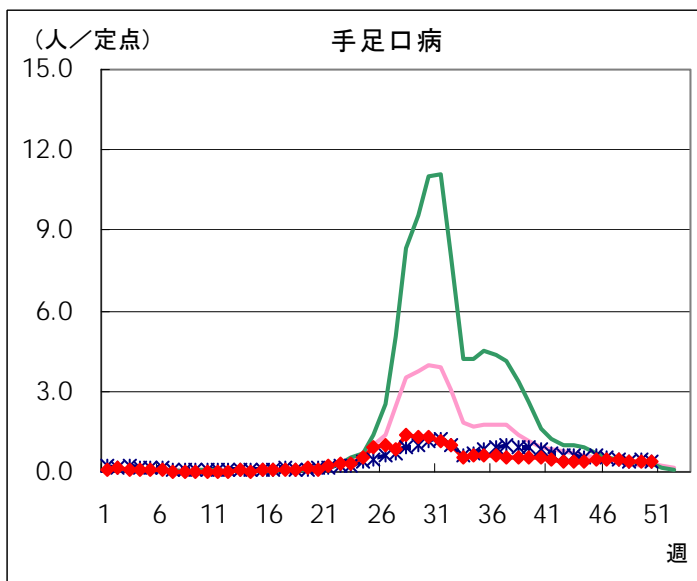
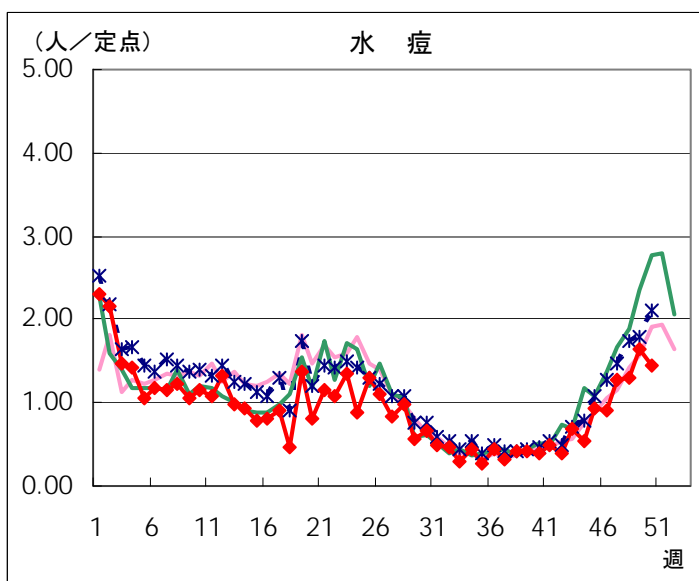
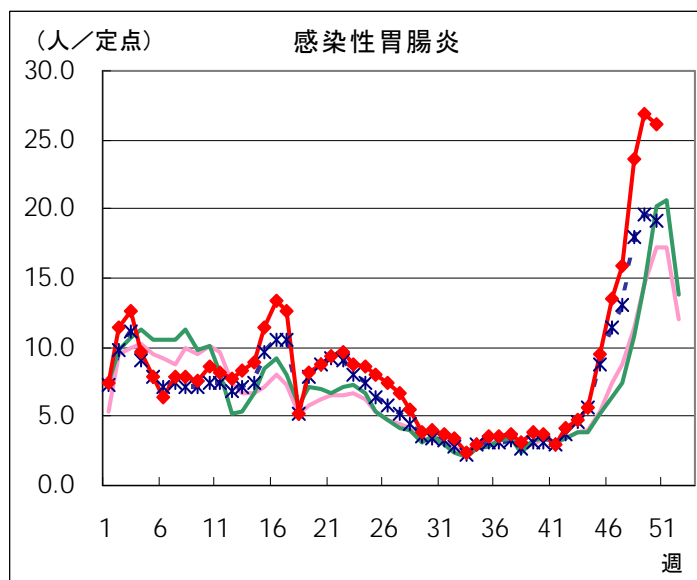
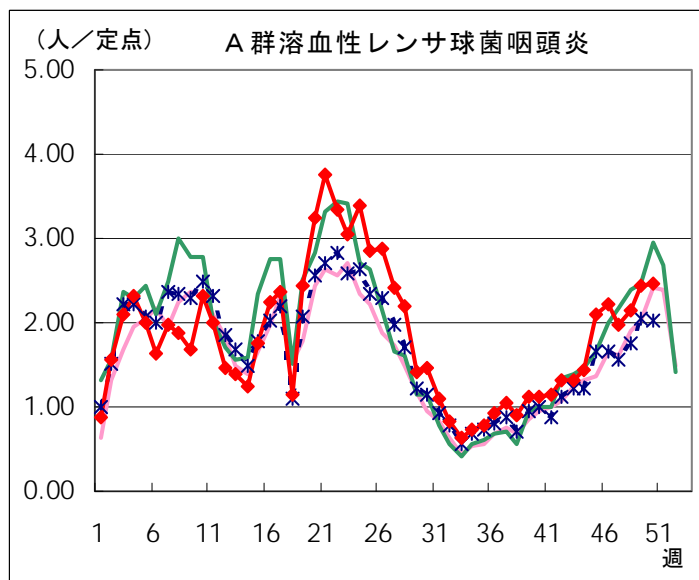
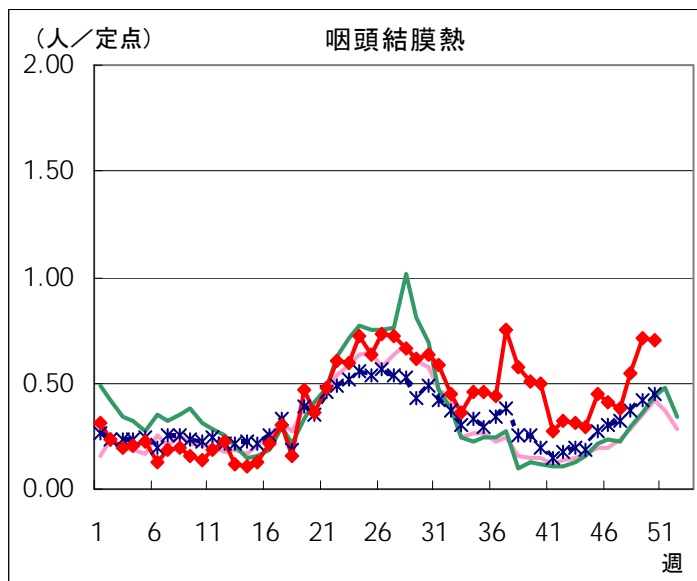
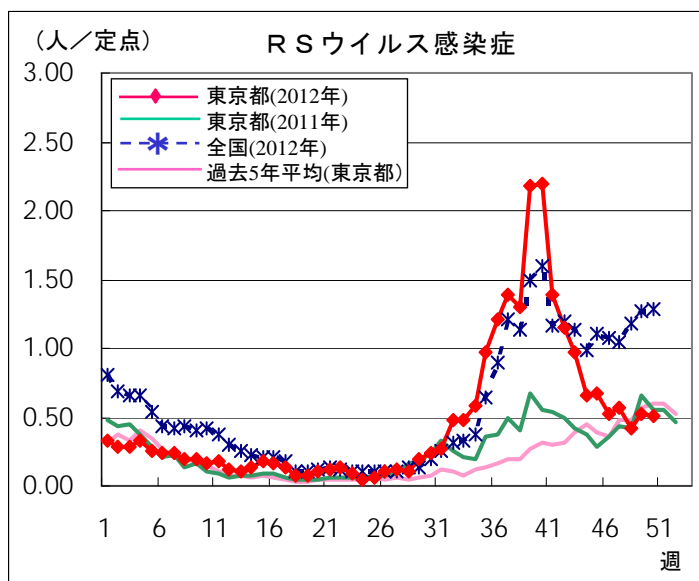


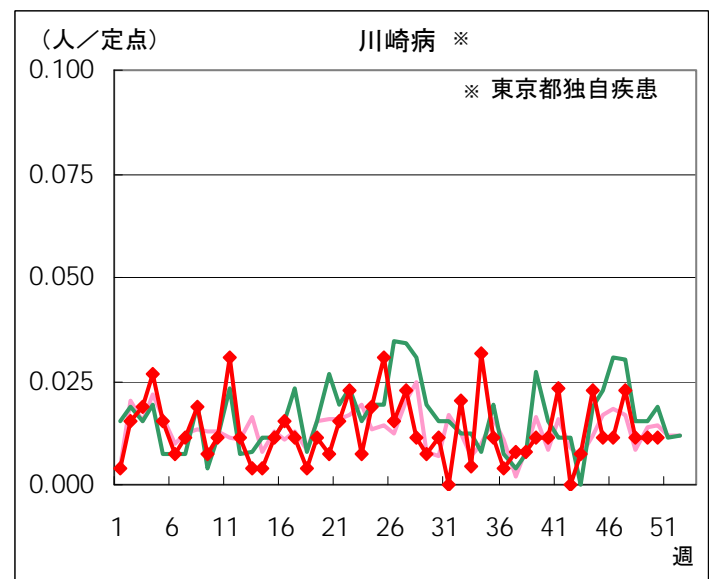
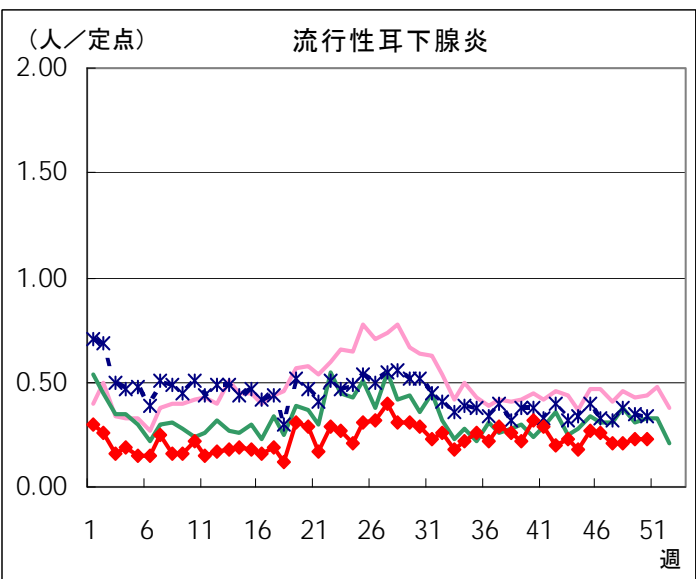
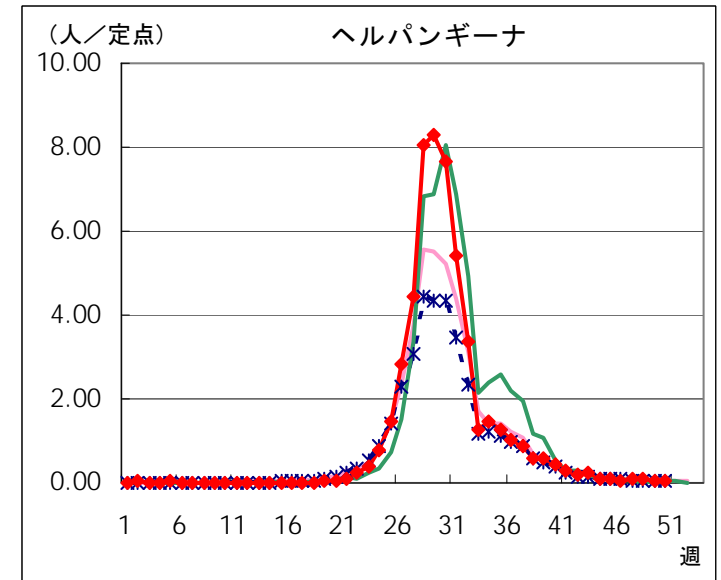
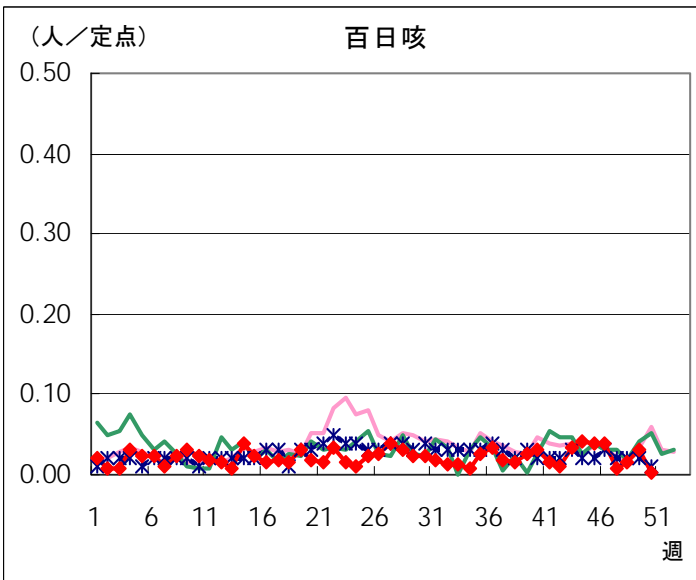
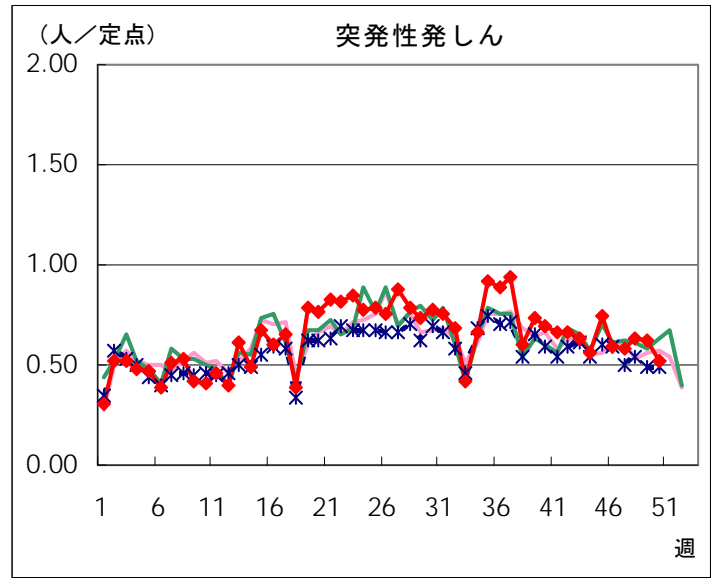
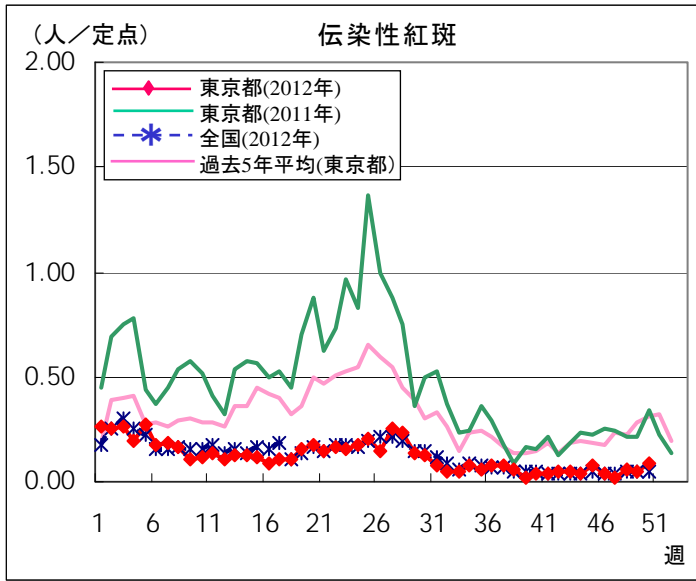
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				2.50		
中央区				0.40		1.00
みなと		0.17		1.22		
新宿区	0.13			0.25		
文京				1.57		1.00
台東	0.25			2.00		
墨田区			0.20	4.75		
江東区	0.11		0.33	2.29		
品川区			0.13	0.33		
目黒区						
大田区	0.46	0.08	0.08	1.38		
世田谷	0.06		0.06	1.32		0.50
渋谷区	0.25			4.71		6.00
中野区	0.14			1.00		
杉並	0.20			0.56		
池袋				1.00		1.00
北区	1.00		0.14	0.27		1.00
荒川区				2.00		
板橋区	0.33		0.22	0.87		0.50
練馬区				0.71		1.00
足立	0.38			1.15		1.50
葛飾区	0.38			0.62		
江戸川				1.58		0.50
八王子市	0.36		0.27	0.94		
町田市	0.50		0.38	1.46		
西多摩	0.50			0.64		
南多摩	0.33			1.21		
多摩立川	0.14		0.07	0.38		
多摩府中	0.38		0.10	0.64		
多摩小平	0.13	0.07	0.07	0.96		1.00
島しょ						

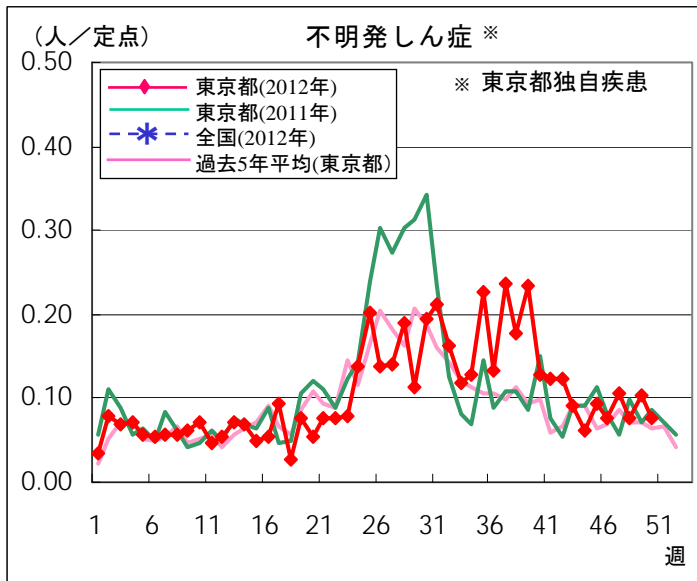
東京都	0.22	0.01	0.08	1.12		0.53
-----	------	------	------	------	--	------

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2012年50週現在

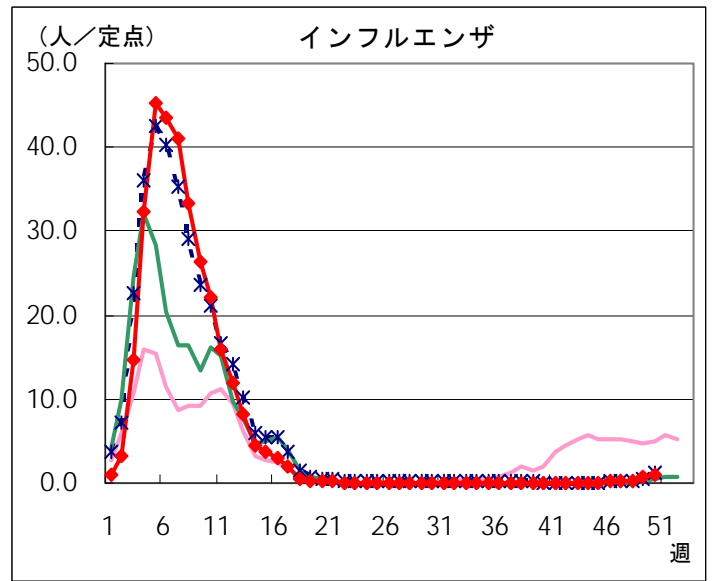
## ◆ 小児科定点



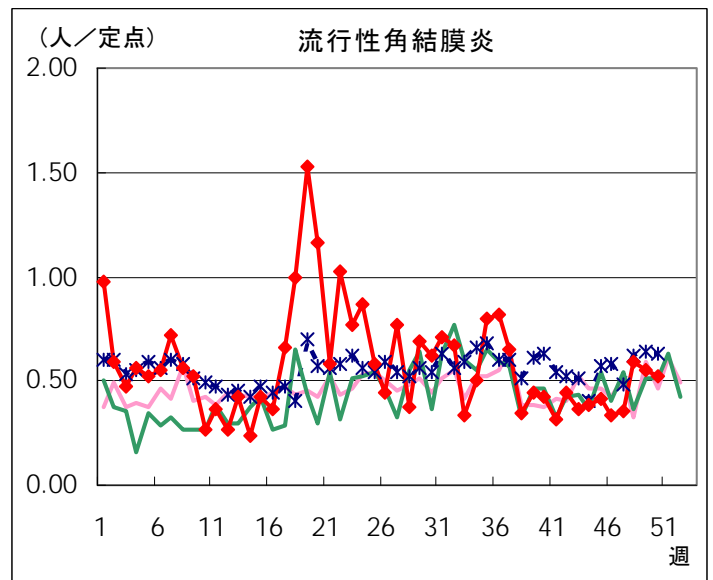
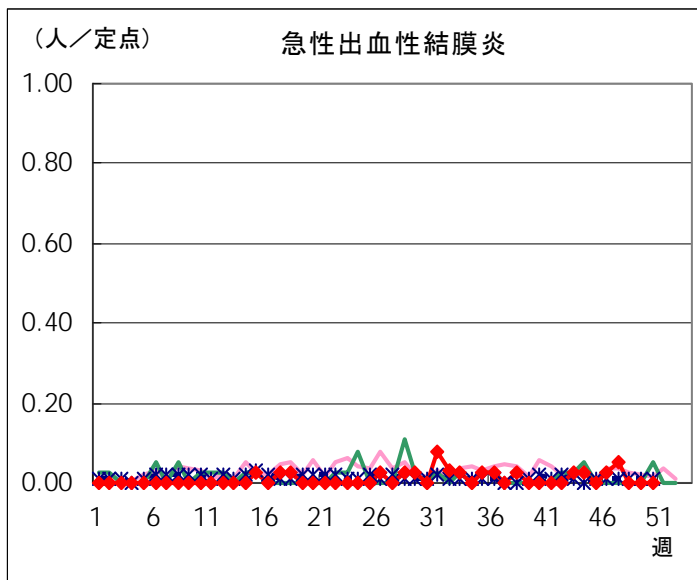




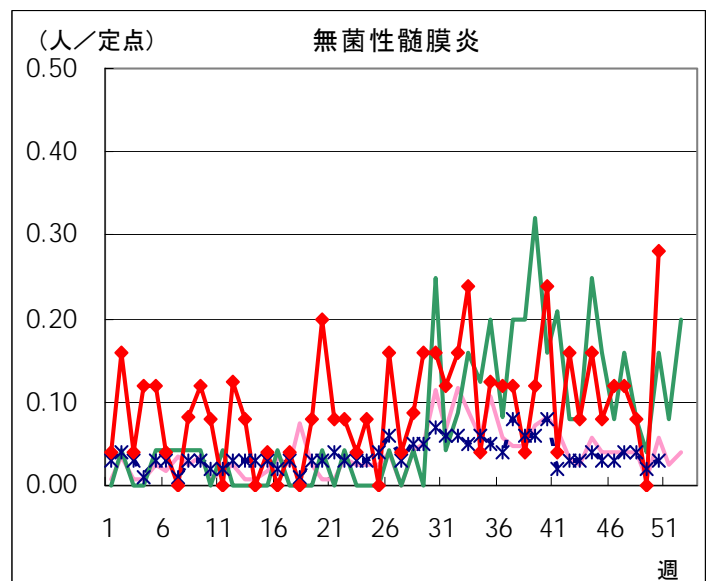
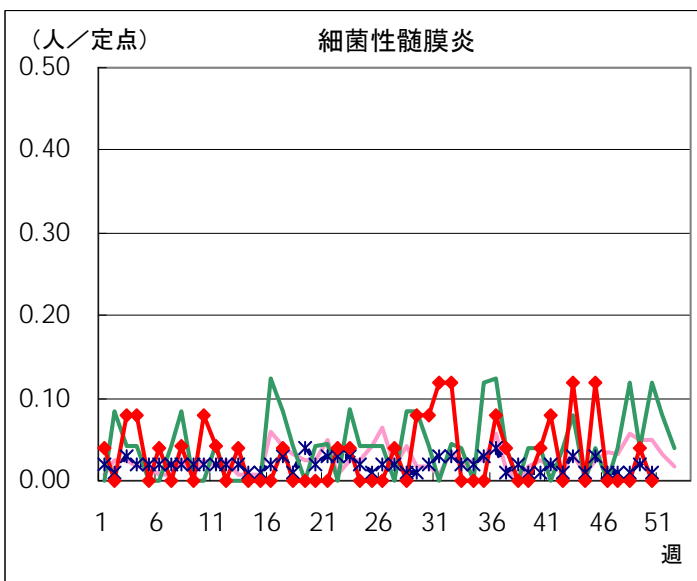
◆ インフルエンザ定点

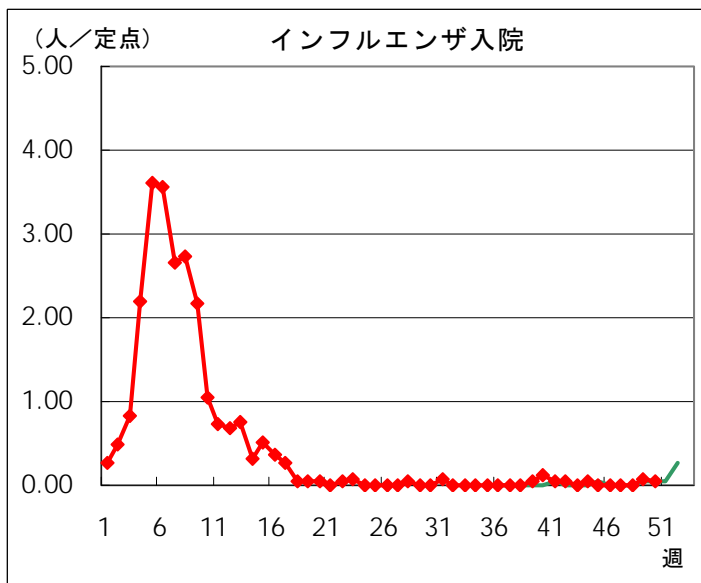
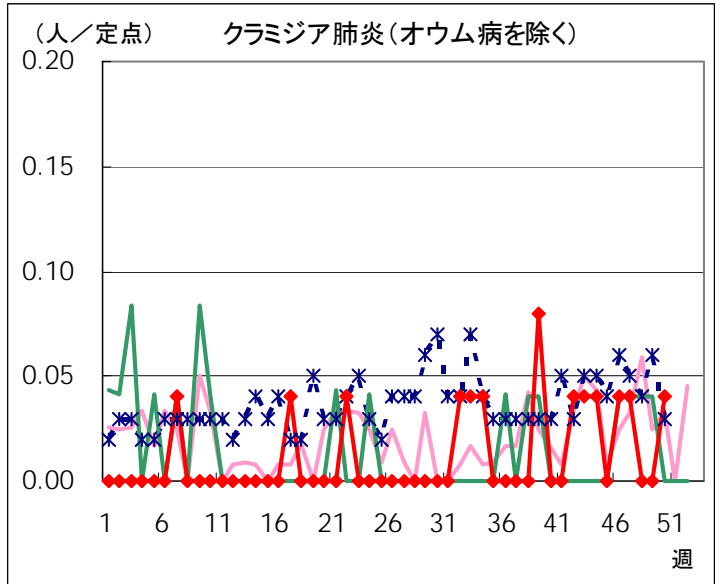
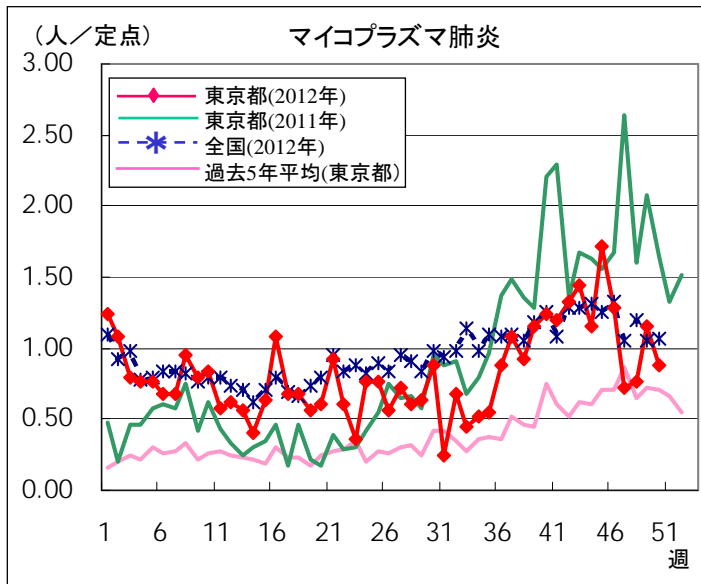


◆ 眼科定点

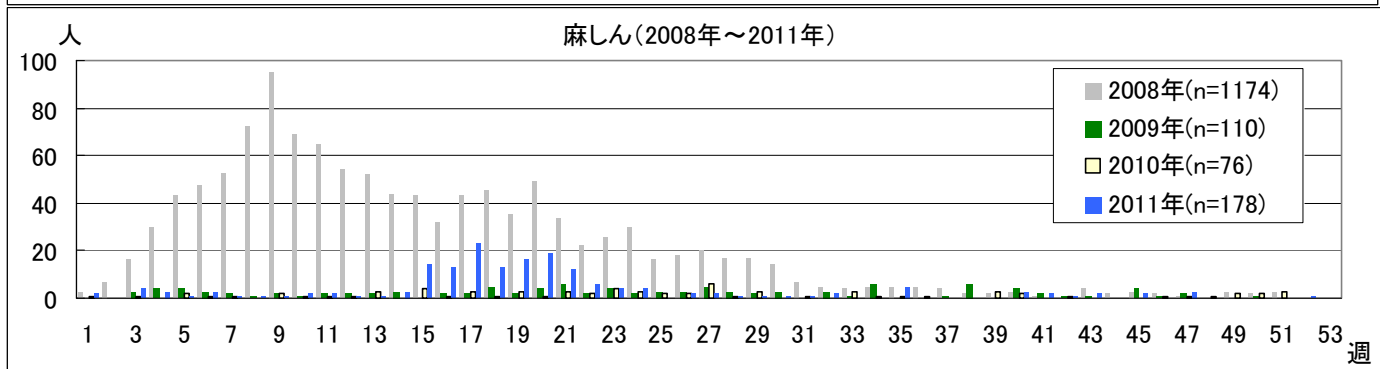
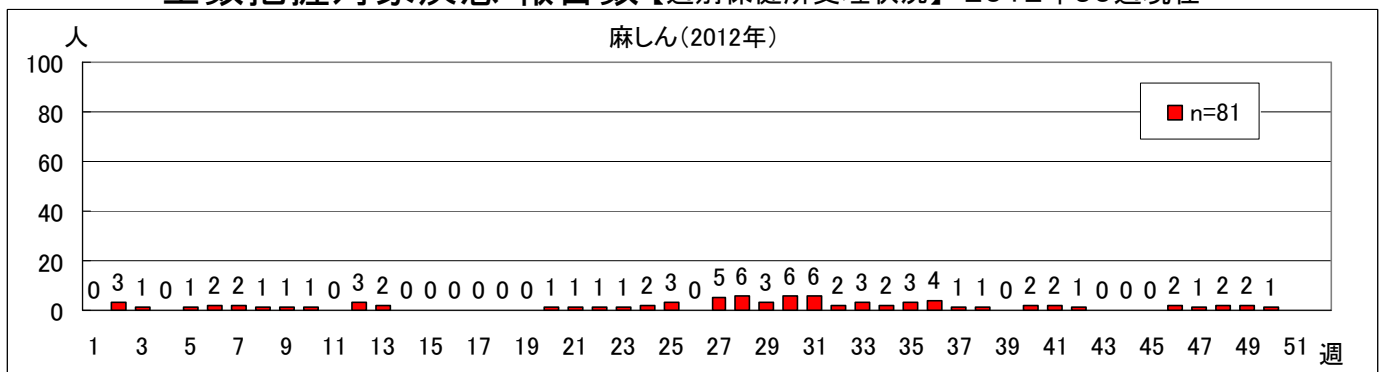


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2012年50週現在



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/30	髄膜炎疑い	4M	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
12/1	不明発しん症	7M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
12/3	咽頭結膜炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス アデノウイルス	
12/4	インフルエンザ様疾患 (発熱、上下気道炎、嘔吐)	1	咽頭拭い液	アデノウイルス 4型	
12/5	手足口病	1	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
12/6	不明発しん症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
11/29	咽頭扁桃炎	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
11/1	不明発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
12/6	気管支炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
12/6	肺炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/4	ムンプス難聴 ムンプス髄膜炎疑い	7	口腔内拭い液	EBウイルス ムンプスウイルス	
11/10	脳炎	77	髄液	単純ヘルペスウイルス 1型	
11/29	肺炎 突発性発しん けいれん群発	記載なし	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
49週	1		2	1
2012-2013年 シーズン累計**	1		21	2

\* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

\*\* 2012-2013シーズンの開始は第36週(2012年9月3日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2012年							
		42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週
ウイルス	アデノウイルス	3	1		3	1		1	6
	ライノウイルス	3	6	10	3	5	1	1	
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	4	8	4	5	6	1		1
	単純ヘルペスウイルス			1		1			1
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	1	3	5	4	8		1	5
	EBウイルス	1		2	2	1	1		1
	サイトメガロウイルス								
	ムンプスウイルス		1		2				1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス	1	1						
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	2	1	2	1	1	1	1	2
	ノロウイルス		2	2	5	3	1	2	
	ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3		1		5	2	1	3	2	
インフルエンザウイルスB	1							1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09								1	
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス		2	1				2		
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2012年42週～2012年49週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数		19	37	41	34	21	5			1	9		23	6		1	2	75	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		2	4	1	1	2				1		3					1	
	ライノウイルス	2	4	10	1		1						2	4				5	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス		5		1	2				1	9		3					8	
	単純ヘルペスウイルス																		3
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																		
	ヘルペスウイルス6/7		3	2							2		10						10
	EBウイルス		2			1								3					2
	サイトメガロウイルス																		
	ムンプスウイルス					2								2					
	麻疹ウイルス																		
	風しんウイルス																	2	
	パルボウイルスB19																		
	RSウイルス			10			1												
	ノロウイルス				15														
	ロタウイルス																		
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	14																		
インフルエンザウイルスB	2																		
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1																		
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス		1	1	3															
細 菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			



月報告 定点把握対象疾患 報告数 2012年11月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	103	1.94	53	55
		女	65	1.23		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	74	1.40		
		女	48	0.91		
	尖圭コンジローマ	男	56	1.06		
		女	30	0.57		
	淋菌感染症	男	79	1.49		
		女	17	0.32		
	膺トリコモナス症 *1	男	2	0.04		
		女	10	0.19		
梅毒様疾患	男					
	女	3	0.06			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	55	2.20	25	25
		女	43	1.72		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	18	0.72		
		女	10	0.40		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	2	0.08		
		女	1	0.04		
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症 *2	男				
		女				

2012/12/19

\*1 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

\*2 2011年2月1日より新たに指定された。

## 月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2012年11月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1	1		2		
20～24歳	13	8	3	10		
25～29歳	19	11	6	13		
30～34歳	16	12	9	10		
35～39歳	24	8	11	19		
40～44歳	11	17	9	10		
45～49歳	8	8	5	6	1	
50～54歳	6	2	5	4		
55～59歳	3	2		1		
60～64歳	1	1	5	2	1	
65～69歳	1	3				
70歳～		1	3	2		
合計	103	74	56	79	2	
先月数	152	86	63	73	3	15
増減数	-49	-12	-7	6	-1	-15

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳	1					
15～19歳	14	2	3	1		
20～24歳	19	8	11	8	1	1
25～29歳	11	14	10	5	4	1
30～34歳	8	7	4	2	1	
35～39歳	9	4	1			1
40～44歳	2	3		1	1	
45～49歳	1	3			1	
50～54歳			1			
55～59歳		2			1	
60～64歳		2			1	
65～69歳		1				
70歳～		2				
合計	65	48	30	17	10	3
先月数	92	49	32	18	12	2
増減数	-27	-1	-2	-1	-2	1

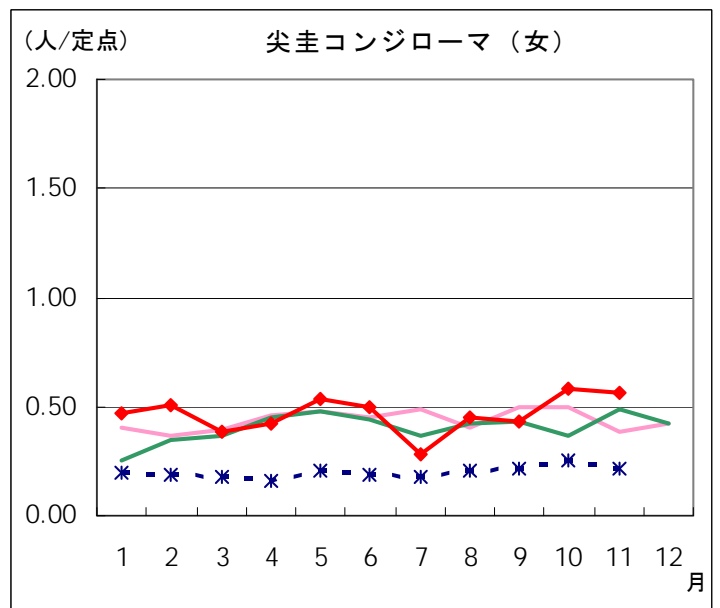
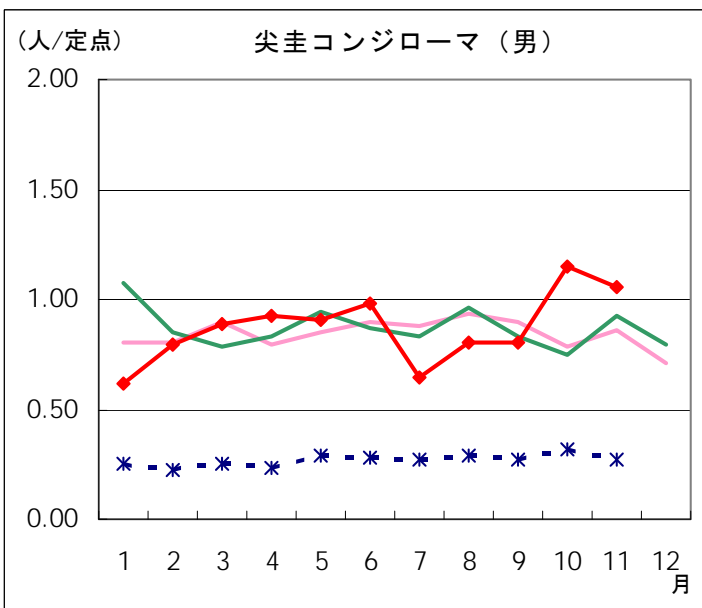
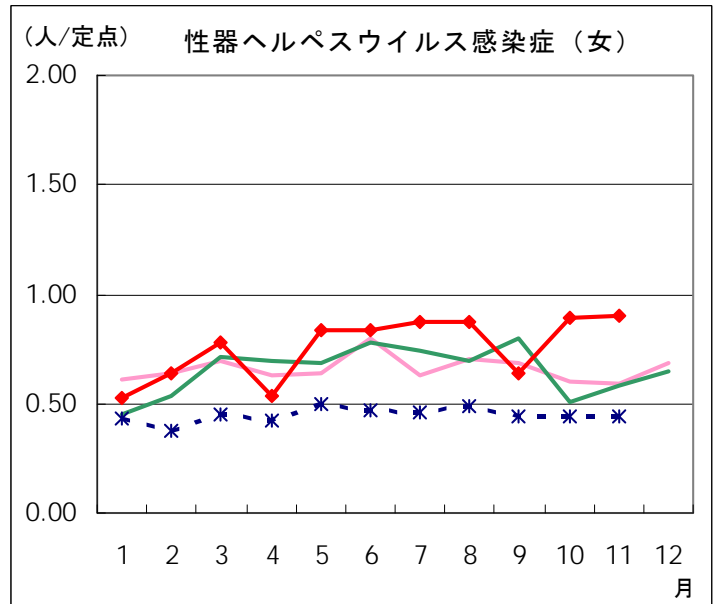
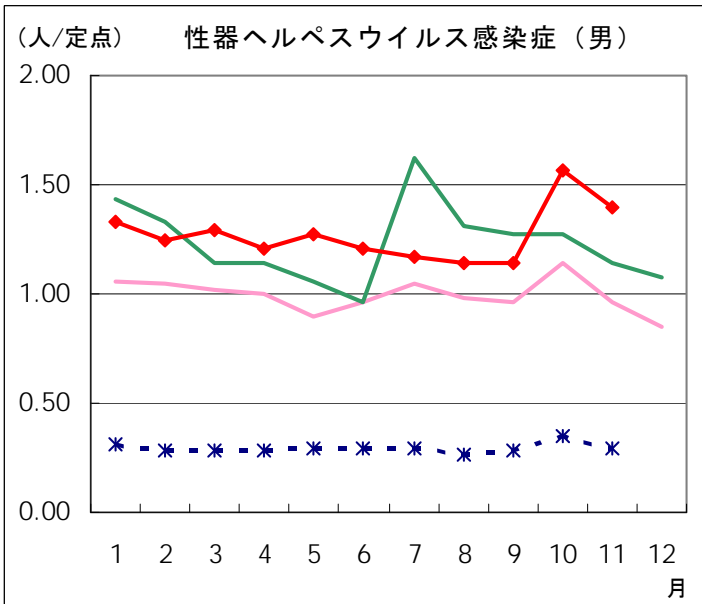
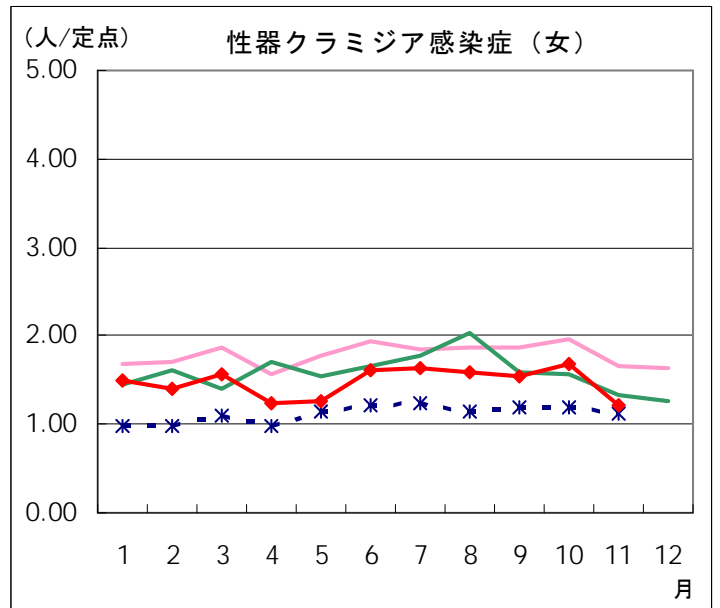
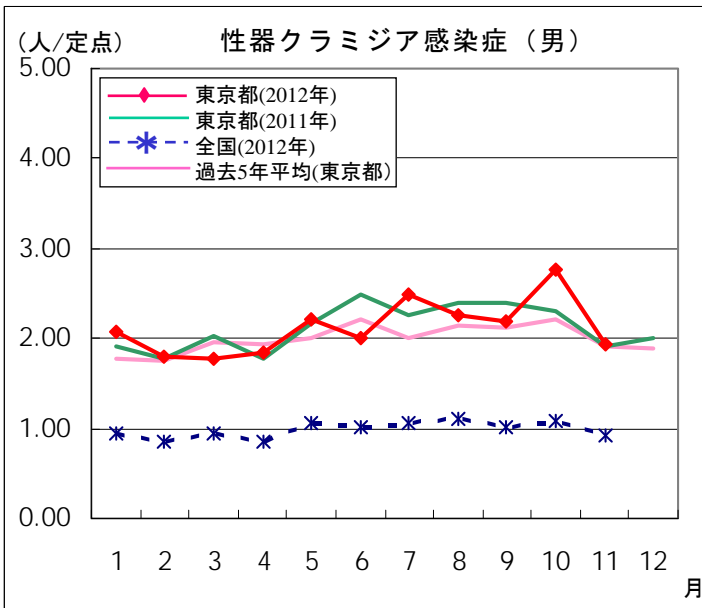
## 月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2012年11月

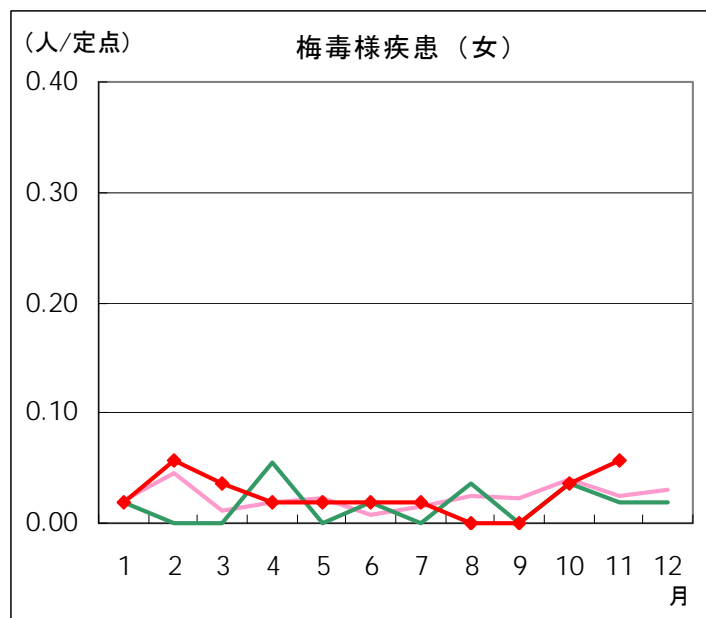
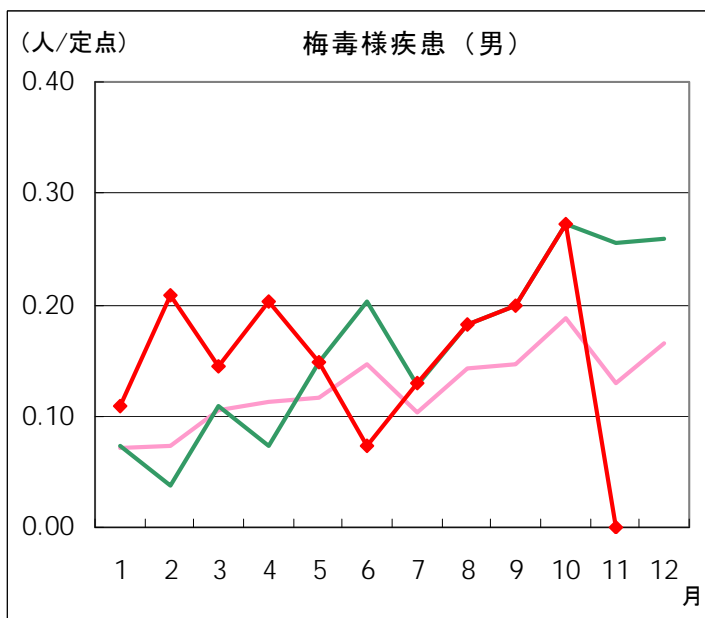
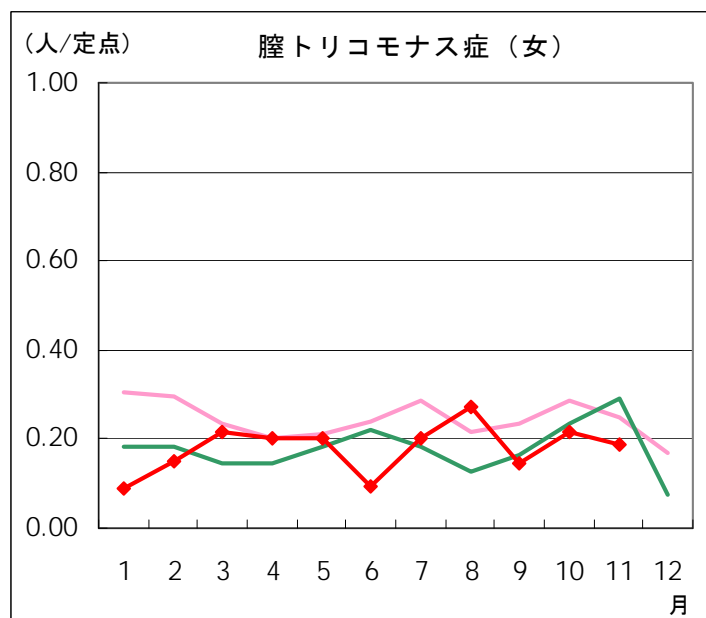
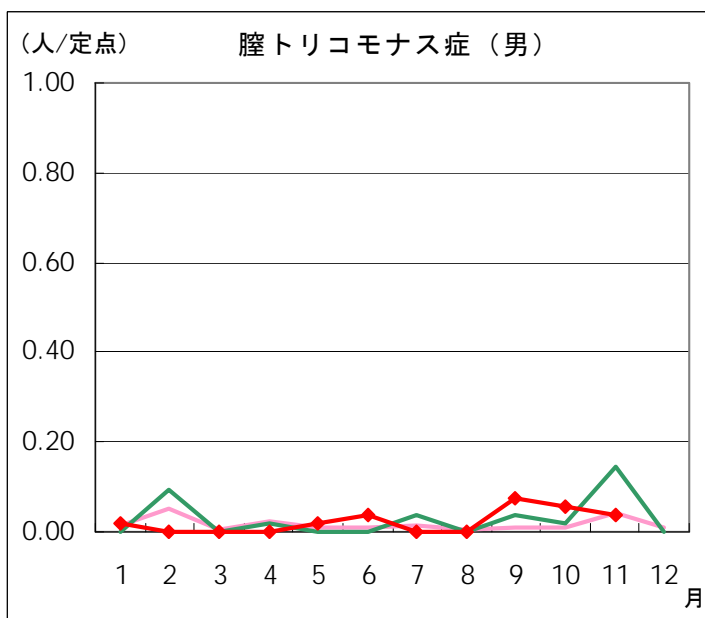
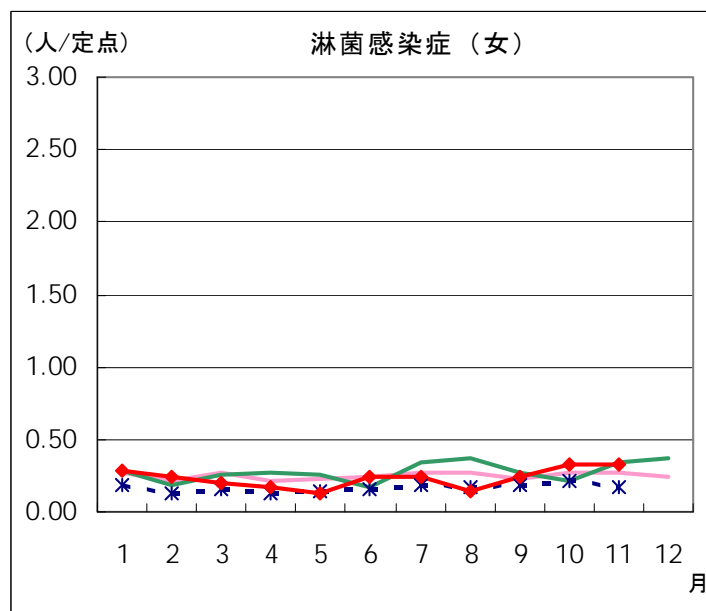
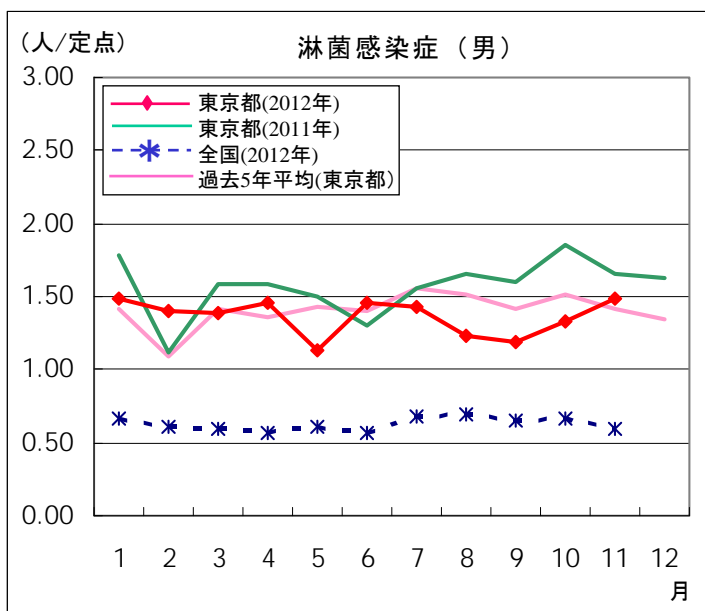
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	11	1	8	15		
中央区	3	12	4	1	7		
みなと	2	8	28	11	4		
新宿区	6	24	13	22	26		
文京	1	5	1	1	2		
台東	2						
墨田区	2	3	1		1		
江東区	2	7	7	1	10		
品川区	1	6	2		1		
大田区	2	4			2		
渋谷区	4	2	4	1	1	2	
中野区	2	2		1			
杉並	2	4		1	2		
池袋	3	11	5	5	4		
北区	1			3			
荒川区	1						
板橋区	2		5		1		
足立	2	3	1		1		
江戸川	2	1	2		2		
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3			1			
多摩小平	1						
合 計	53	103	74	56	79	2	
定点当たり		1.94	1.40	1.06	1.49	0.04	

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2						
中央区	3		1			1	
みなと	2	6	7	7		2	
新宿区	6	7	15	13	8	1	2
文京	1						
台東	2	1	1			1	
墨田区	2	1	2	2	1	1	1
江東区	2	3			1		
品川区	1	1			1		
大田区	2	4				1	
渋谷区	4	5	7	4			
中野区	2			1		1	
杉並	2						
池袋	3	7	3	1	3	1	
北区	1						
荒川区	1	4	1				
板橋区	2		3		2		
足立	2	3		1			
江戸川	2	2	2		1	1	
八王子市	4	5					
町田市	1	3	1				
多摩立川	2	13	4	1			
多摩府中	3		1				
多摩小平	1						
合 計	53	65	48	30	17	10	3
定点当たり		1.23	0.91	0.57	0.32	0.19	0.06

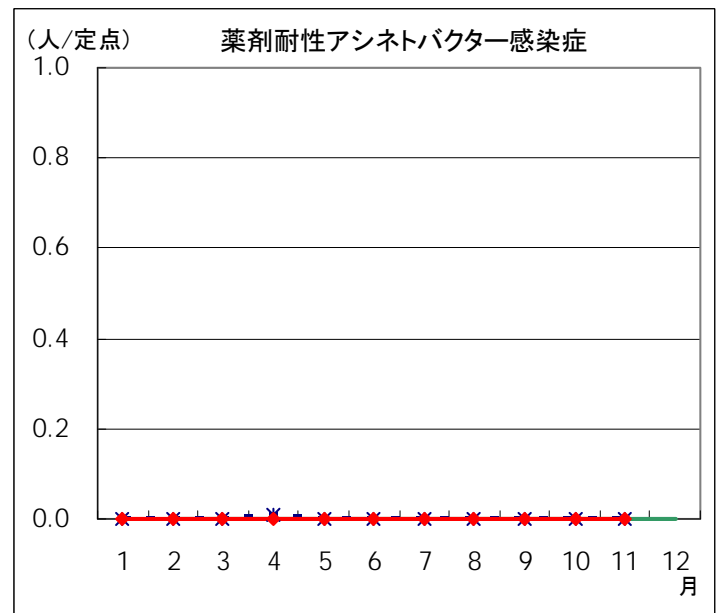
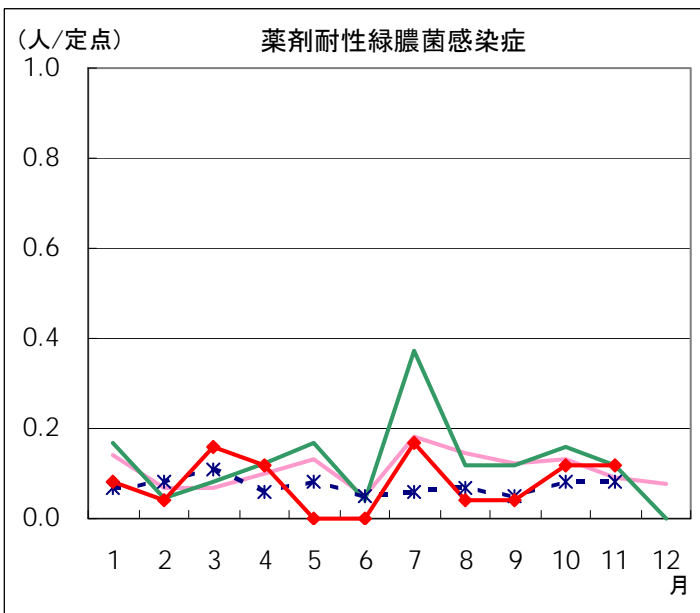
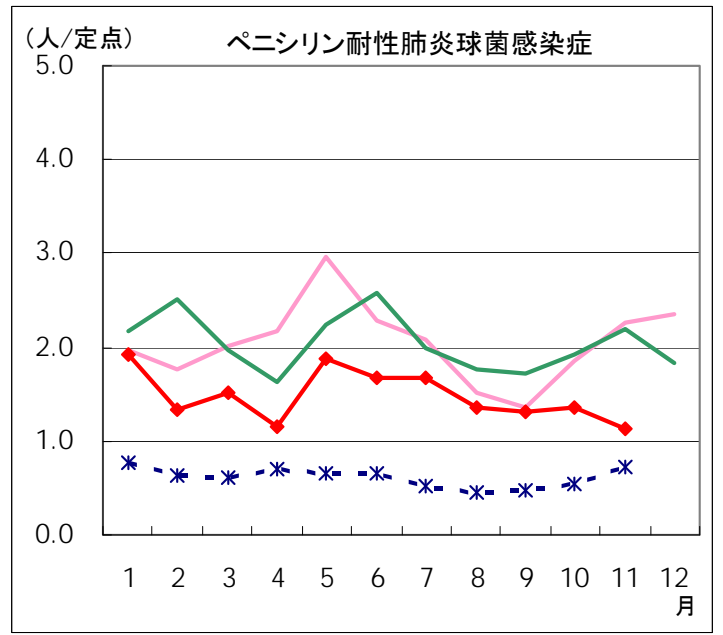
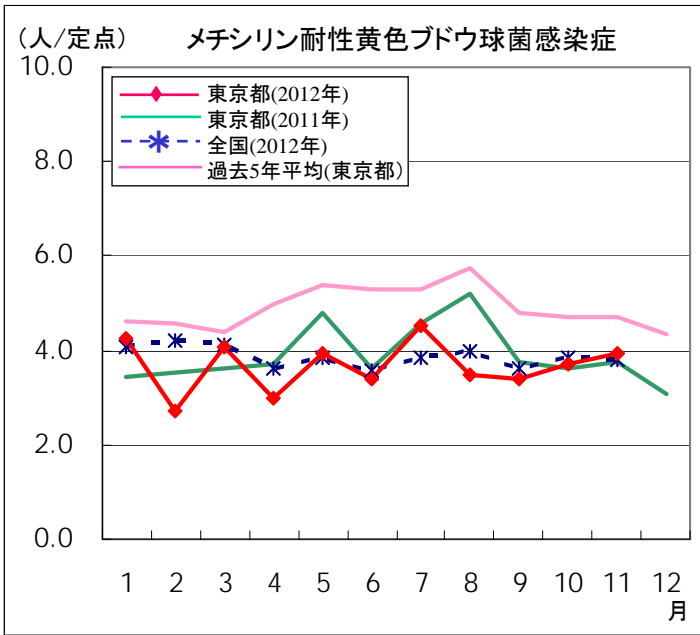
# 月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2012年11月現在

## ◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



## 月報告 病原体検査情報

### ◇病原体検出状況

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
11/5	外陰部ヘルペス疑い	18	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	遺伝子
11/7	陰茎ヘルペス	20	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
11/28	尖圭コンジローマ	24	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型	
					ヒトパピローマウイルス 67型	
11/21	淋菌性尿道炎	28	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
11/26	性器ヘルペス	32	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
11/30	尿道炎	32	男	尿	淋菌	
11/14	尿道炎	33	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
11/30	尿道炎	36	男	尿	クラミジア	
11/14	陰茎コンジローマ	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型	
11/14	尿道炎	39	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
11/21	尿道炎	40	男	尿	淋菌	
11/16	尿道炎	42	男	尿	クラミジア	遺伝子
11/28	尿道炎	44	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
11/21	淋菌性尿道炎	44	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
11/14	尿道炎	45	男	尿	クラミジア	遺伝子
11/21	淋菌性尿道炎	46	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
11/14	尿道炎	54	記載なし	尿	クラミジア	遺伝子
11/21	淋菌性尿道炎	56	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定

## <感染症豆知識>

### インフルエンザ 2012 年 10 月現在

2011/12 シーズンに分離・検出されたインフルエンザウイルスは AH3 亜型が 71% を占め、B 型との混合流行であった。B 型は、Victoria 系統と山形系統が 2:1 であった。沖縄県では流行が終息することなく、6~9 月にかけて AH3 亜型の流行がみられた。AH3 亜型、B 型 (Victoria 系統)、B 型 (山形系統) それぞれの分離例の年齢分布をみると、ともに 5~9 歳が最も多かった。

パンデミック (H1N1) 2009 を引き起こした AH1pdm09 は、2010/11 シーズンには季節性インフルエンザの流行パターンとなり、分離・検出されたインフルエンザウイルスの半数を占めたが、2011 年 4 月以降の分離・検出はごく少数となっている。旧 AH1 亜型 (ソ連型) は 2009 年 9 月以降全く報告されていない。

2011 年第 36 週~2012 年第 18 週 (9/6~5/6) までのインフルエンザ定点医療機関からの患者報告数をもとに推計された全国の医療機関を受診した患者数は累計で約 1,648 万人であった。

2011 年 9 月に開始された入院サーベイランスでは 2011/12 シーズンにインフルエンザで基幹定点医療機関に入院した患者 11,118 人 (うち重症患者 1,487 人) が報告された。

2011/12 シーズン用インフルエンザワクチンは約 2,888 万本 (1 mL 換算、以下同様) が製造され、推計で 2,510 万本が使用された。予防接種法に基づく高齢者 (主として 65 歳以上) に対する接種率は 53.3% (2010/11 シーズンは 53.1%) であった。

2012/13 シーズンワクチン株として、AH1 亜型は 2010/11~2011/12 シーズンに引き続き A/California/7/2009 pdm09 が選択され、AH3 亜型は A/Victoria/361/2011 に、B 型は山形系統の B/Wisconsin/1/2010 に変更された。

(文責 国立感染症研究所感染症情報センター 山下和予)